

平成20年度第2回安曇野市人権教育推進委員会並びに第2回人権教育指導員の会議 会議概要

1	審議会名	平成20年度第2回安曇野市人権教育推進委員会並びに第2回人権教育指導員の会
2	日 時	平成21年3月9日 午後7時から午後8時
3	会 場	豊科ふれあいホール
4	出席者	93人(178人中)
5	市側出席者	望月教育長、松枝課長、宮澤係長、青柳主査、川上社会教育指導員、高橋社会教育指導員、 林社会教育指導員、三澤社会教育指導員、腰原社会教育指導員、峯岸社会教育指導員
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	平成21年3月13日

協 議 事 項 等

- 1 会議の概要
 - (1) 開会(松枝課長)
 - (2) あいさつ(中山会長、望月教育長)
 - (3) 協議事項
 - ① 平成20年度安曇野市人権教育推進事業報告
 - ② その他
 - (4) 閉会
- 2 協議概要
(事務局)
 - ・安曇野市人権教育・啓発推進体制変更点 小委員会の位置づけ推進委員会の枠の外であったが中に入れる。推進委員会と任務 双方に矢印を設けた。
 - ・人権問題関係諸団体といずれともつながっていなかったが、人権推進において広く参画いただいているので、推進委員会から推進組織との間に実線でつなげた。
 - ・地域のところ地区人権教育推進協議会となっていたが地域に改め、5地域を一つの破線で囲み一体的な表現にした。
 - ・学校人権推進協議会について、21年度当初より設置できる運びとなりました。会則を示しました。会則の説明学校と地域の学社連携ということで、人権教育の推進をしていただいていた。設置により一層明確になった。
 - ・企業人権推進協議会について、設立準備会が行われ、年度内設立に向けて準備を進めてきたが、安曇野市の商工会と参加いただける企業の調整しているところで、年度内の設置は難しい状況。21年度の予定、12月の人権週間を目途に設立に向けて調整していく。
 - ・各地域の平成20年度安曇野市人権教育推進事業報告(会長)

各地域での報告をいただいたが、質問等ありましたら。

 - ・地区別事業実施、豊科は前は区ごとにどんなことをやっているか、誰にお願いし、参加者はというまとめがしており、この報告は区ごとのものが抽象的になっている。小学校の授業参観に行ったが、学校の中の雰囲気盛り上がり、前より人権教育らしくなってきた。各区の人権学習会は知識とか理解に重点をおいているのか。実際の行動に重点をおいているのか。講演会だけでなく、もっと深め実践できないか。

(事務局)
講演会に参加し、いろいろな知識をいろいろな分野でいかしていく。リーダーバンクとして活躍いただける。

(課長)
今回の資料、指示し簡単にまとめすぎたと反省している。各地区の取り組みを一緒にしたものを推進員さん、指導員さんに後日送る。知識の蓄積か行動かということ、人権教育ということ考えたときに、知識の蓄積の上に行動が必要である。各区ごとに人権学習会が浸透してきた。

 - ・人権教育という時間、多くはとれない。年に1回、できれば…。人権教育なのか、文化活動なのかははっきりしない。市全体でやる問題ではないか。再検討しなければいけない。負担が大きい。

(課長)
公民館事業等々、地域のみなさんをお願いする部分が多く負担が多くなる。各地区の公民館は人を集められる組織。人権教育について、より多くの人に聞いてご理解いただくことが大切。負担が少ない方法を考えていきたい。学校人権推進協議会の代表明科中学校の清水校長先生においでいただいているので、ご挨拶いただきます。

(明科中 清水校長)
人権教育は、日頃から行うことが大事。学級経営の基本。小中の一貫性を図ること。幼・保・高校との関係も考えていく。17小中学校の校長が推進委員。それぞれの地域との連携をしていく。各地域で窓口の学校が決まってくる。負担にならない程度にお互いに学びあいたい。

(事務局)
21年度の予定、第1回推進委員さん指導員さんの会を5月のうちに実施したい。その折に研修会も兼ねて開催していきたい。高校とも学社連携で取り組んでいきたい。12月には、人権週間にあわせて、企業人権協議会の設立とともに記念講演をしていきたい。

 - ・来年度の計画このテーマを受けるのですが、知識や理解という面のものが講演会、それぞれの区でこういう計画を立て、こんな実践をしていきたいという計画が出せると、年度末にも具体的な報告ができる。

(課長)
安曇野市全体をスキルアップしたい。具体的な活動を支援していきたい。努力していきたい。